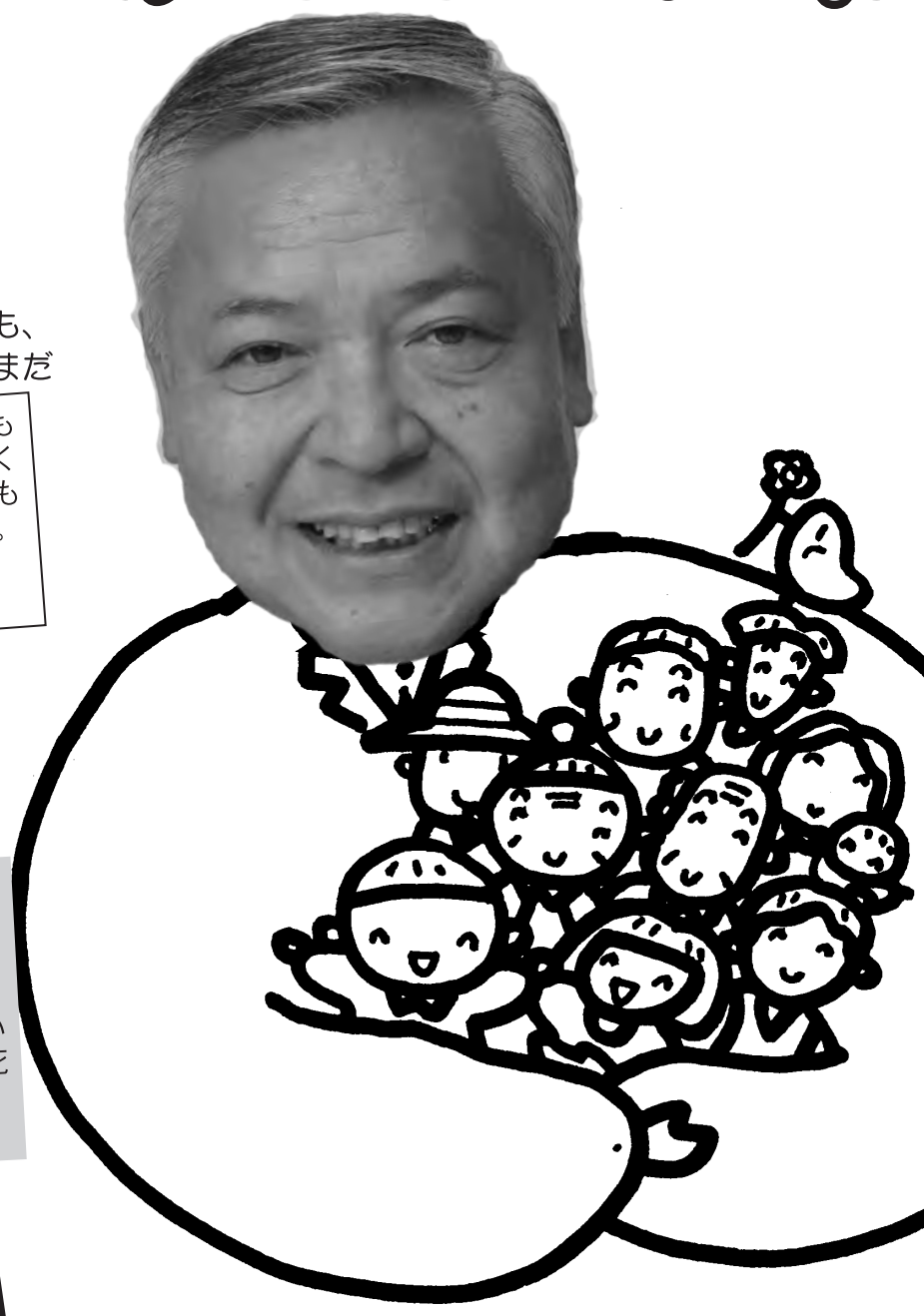
消費税増税　年金引下げ
庶民に冷たい
安倍・自公政権

くらし支える
だからあたたかい市政を

市議会議員
北島元雄の重点政策
日本共産党



●国保税引き下げ

12億円の黒字を活用して 1世帯年間２万円引き下げを

一昨年に国保税の引き下げが実現しましたが、それでも、加入世帯の２割以上が国保税を滞納している異常事態。まだまだ国保税が高すぎるからです。市の国保会計は12億円の黒字（基金＋繰越金）。この“余裕資金”は国保税の引き下げに活用すべきです。１世帯平均２万円の引き下げは、６億6000万円でできます。

仕事は減っても国保税は容赦なく課税されます。もう耐えられません。
波志江町　飯島伊佐己

●介護保険料引下げ

1人1万円の引き下げ

消費税増税、年金引下げなど、ど、高齢者の暮らしにおそいかかる悪政。「せめて介護保険料の引き下げを」と多くの高齢者が要望しています。１人１万円の引き下げは４億6000万円でできます。

保険料を払っていても、介護を受けにくくする制度に変えようという動きが、国の方にあるそうですね。なんでこんなに高齢者をいじめるのですか。「早く死ね」ってことですかね。
除ケ町　鈴木　修

●30人学級の拡充

小学校全学年を30人学級に

30人学級は、子どもたちの豊かな人間的成長や確かな基礎学力の獲得に大きな役割を果たします。市内の小学校すべてを30人学級にするには約50人ほどの先生を新たに採用すればいいのです。そのために必要な予算は約２億5000万円です。

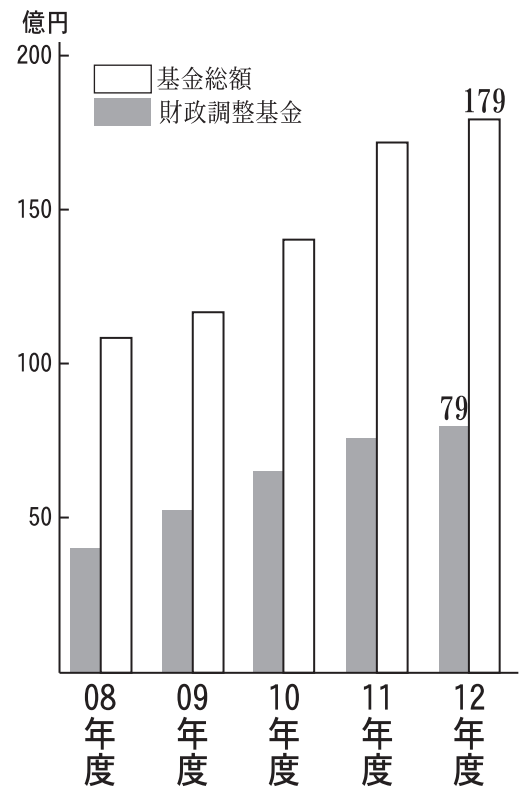
小1の孫のクラスは24人。四ッ葉学園では中高でも30人学級と聞く。私の教師体験からも、上の学年になってもぜひこの人数を維持してほしい。
西久保町
神戸道也（元教師）

●住宅リフォーム助成制度の継続

この２年間で、３億円余の予算で約17億円の仕事を生み出しました。地域経済の活性化は市の大事な仕事。波及効果も抜群のこの制度をさらに継続させます。

補助金があるので思い切ってお勝手を直すことができ、大変使いやすくなりました。大工さんも仕事が増えて喜んでいました。
柴町　関根幸江

179億円 市民のこんだ基金を市民のために活用させます



伊勢崎市の財政調整基金と基金総額の推移（年度末残高）

市民のみなさんが汗水流して納めた税金が市にたっぷりためこまれています。その額なんと179億円（2012年度末）。市の財政規模（一般会計700億円）の2割以上になります。この一部を使えば、右に掲げた重点政策はすぐに実現することができます。

金庫にためこむのではなく、市民のくらしの支えとして生かされてこそ、税金を納めた甲斐もあるというものではないでしょうか。

ご意見・ご要望をお寄せください

私たちの政策は、みなさんの声をもとにしてつくります。ぜひいろいろなご意見をお聞かせください。

＜連絡先＞日本共産党伊勢崎佐波地区委員会
伊勢崎市北千木町2087　電話25-4854